

美しい肌のために

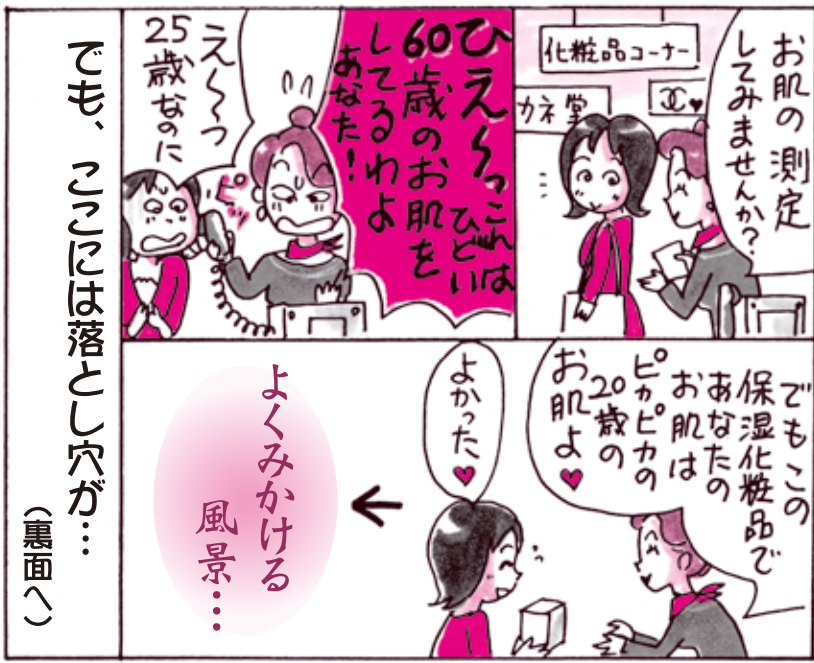
保湿の違いは？

＜皮膚の水分測定??＞

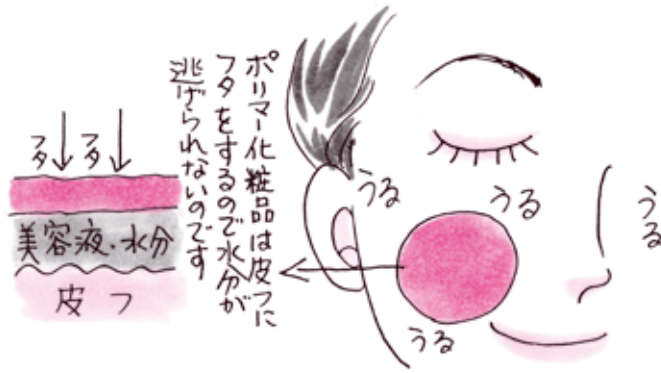
化粧品販売員に「お肌の測定をしてみませんか」と声をかけられて、「水分が不足しています」「60歳の肌みたい」などと言われて保湿化粧品を勧められたことはありませんか？

デパートにて…

まんが／くぼた みき



(裏面へ)



豊胸手術のように水を注入して皮膚をふくらませるのが今日の保湿化粧品。この文化は欧米から来ている。保湿化粧品が水を皮膚に浸透させると、皮膚の水分が増加するが、これはみずみずしく見せかけた人工の皮膚にすぎない。5～10日間化粧品を使わずにいると、水の補給が絶たれ、水が蒸発し、皮膚がカサカサになる!

しかし、この皮膚が本物!! 困ったことに、このように人為的に水を入れてみると、皮膚のバリアが完全に壊れてひどい乾燥肌になり、老化が進行する。たった数日でシワが消えたり出たりするはずはない。皮膚を物理的にふくらませただけなのだ。



意図的に化粧品で皮膚の水分を増やすとどうなるか? 口腔や食道、胃、腸、肛門にいたる内皮(粘膜)は乾燥させられない。だからいつでも口を閉じることができ、肛門は閉じたままで、皮が死んでケラチンという硬いタンパクにならないようにできている。こういう状態をバラケラトシス(角化)不全といい、粘膜はこの状態で健康なのである。

つまり、「粘膜には保湿化粧品」を、というのは正しい。現実的には無理な論法なのだが……。

皮膚の表皮は違う。歳をとると新陳代謝が遅くなるが、表皮は年中入れ替わっている。表皮表面の角層は細胞が死んでケラチンの壁になったもの。表皮は生まれた瞬間から老化しはじめ、顆粒細胞という仮死状態を経て角層というミイラとなって、脂と協力して体の水分が蒸発しないようにふさいでいるのである。ミイラにアミノ酸も植物エキスもあったものではない!!

表皮細胞(ケラチノサイト)は、まさに早く死んで硬い角質になるための組織なのだ!!

表皮に重要なことは水分をたくさんふくませてやわらかくすることではなく、表皮組織の新陳代謝の速度をゆるめず常に新鮮で丈夫な角層を維持すること。表皮に水を入れれば入れるほど表皮の細胞はいつまでたっても細胞核を失うことができず、角化できない。表皮が生命力を得たら表皮の新陳代謝は衰え、角層は虚弱になり皮膚のバリアはこわれる。



※本来の肌をとりもどすために…

- 石けんで顔を洗える(洗いすぎない)
- 界面活性剤乱用型コスメを使わない(アンチエイジング)
- シワ消し・美白クレンジング…
- よく食べるよく眠る(美容は食から)

忘れられないメールがある。

(ある美容相談より)

「合成界面活性剤を添加していないという化粧品を使いだしたら、1週間ぐらいでシワが出てきた。10日目にはひどいシワになったので、前に使っていた美容液をついたら1晩でシワが消えた」というのである。

この女性は合成界面活性剤で皮膚のバリアをこわして皮膚に水を注入してきた。

注入した水はそのままだと蒸発してしまうから、シワを目立たなくするための保湿化粧品は、合成界面活性剤のほかに閉塞剤(ワタ)も配合して蒸発を防いでいる。

皮膚に水を閉じ込める閉塞剤には合成樹脂などが用いられている。皮膚がふくらんですべすべしてシワが目立たなくなるのがこの化粧品の特徴だ。

皮膚に水を保持させられる時間は数日。数日たつと閉塞剤がなくなり、化粧品の水が一気に蒸発してしまうのである。

こういう無茶をしていると皮膚は老化し、シワが一層ひどくなっていく。

皮膚に水分を入れるのは、見かけをよくするだけだ。そして石けんも使えない乾燥肌になり、老化を進めているのだ。

見かけをよくして皮膚が健康になったと女性に錯覚させるのはおかしくないか？

ゼノアウエブコラム(ペーパー版)
発行所 ●株式会社 東京美容科学研究所
●株式会社 ゼノア

〒114-0024
東京都北区西ヶ原3丁目11-9
TEL・03-3949-4141
FAX・03-3949-8095
URL: <http://www.genoa.co.jp>
e-mail: info@genoa.co.jp